

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開
について（口頭要請）

令和4年5月12日防衛省北関東防衛局より、令和4年5月中旬ごろから約5か月間、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークが横田飛行場に一時的に展開されることや、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化する中、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動がますます重要であり、今回の一時的な展開が我が国の安全保障にとって有益である旨の情報提供を受けました。

横田飛行場における航空機の運用については、基地周辺自治体のみならず、その隣接自治体にも大きな影響を及ぼし、住民は常に不安を抱えている状況です。

つきましては、住民の平穏な生活を確保する視点から、安全対策を徹底し、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめるよう要請します。

令和4年5月19日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

日の出町長 田村みさ子